

# なにわ名物 開発研究会 NEWS

＜第12号＞  
2003年9月25日発行

発行  
なにわ名物開発研究会

編集  
広報部

〒542-0076  
大阪市中央区難波1-7-2  
SENOYAビル3F  
TEL・FAX 06-6213-5554  
<http://www.naniwa-meibutsu.com/>

「ブランド・成功事例・誇りと自信」をキーワードに

## モダンシティ大阪の復活を目指そう

なにわ名物開発研究会、今年度のキーワードとして「ブランド」「成功事例」「誇りと自信」をあげています。また、OSAKA BRANDへのアプローチとして「モダンシティ」「水都」「夕陽」の3つの言葉を提案しました。

「えっ！大阪がモダンシティ？」多くの方から驚きの声を聞きました。それほど、いまの大阪のまちから「モダンシティ大阪」のイメージは消え去ってしまったのでしょうか。でも、つい七、八十年前までそう呼ばれ「大大阪」と称した時代があったのです。大阪のまちが「日本で

最も美しい都市である」と評されていたのです。決して、私たちはいまこの言葉をノスタルジーで使うのではありません。大阪ルネサンスを掲げ、大阪のまちを生き生きとした元氣あふれる都市へと蘇らせるためのキーワードです…。

今年、誕生90年目を数える天逝の作家、織田作之助がかつて熱く語ったように：「経済・商業都市」を標榜するのではなく「文化都市大阪」としてのまちづくりを、これからは推進していかなければなりません。「道頓堀川への飛び込みが文化」



野杵育郎

なにわ名物開発研究会  
代表幹事

となるようなまちではなく、「文化の仕掛けでお客様を集める」文化集客観光都市・大阪。

「上方」と呼ばれた近世大阪の時代まで遡らなくとも、「百年大阪、粋なモダンシティ」の復活を目指して「なにわ名物開発研究会」の活動は、さらにおおきな渦をつくって



いきます。誇りと自信を取り戻し、ホンネで語り合うことができるまち「大阪ブランド創出事業」を軸に、なにわ名物開発研究会は「大阪の元氣発信」の先陣をきります。



◆チームリーダー 島野 渉◆

# 第6回 なにわ大賞 大成功!!

第1回の「なにわ大賞」は平成10年大阪市中央公会堂で開催されました。記念すべき第1回開催の会場となった大阪市中央公会堂も、大正期ネオルネッサンスの建築様式を残し、綺麗にリニューアルされました。今年の「なにわ大賞」は、過去5回の「なにわ大賞」の検討と、継続を確認するという意味合いもありました。5月16日に第1回の運営委員会を開催し、今年の選考委員の決定や、以後の運営の予定確認などをしました。もちろん、今回初めてなにわ大賞の運営委員として参加して頂いているメンバーも多く、選考基準について第1回目か

7月1日に第1回選考会を開催しました。今回は100通近くの応募があり、その中から30数組が最終審査へと残りました。その中には資料不足もあり、活動内容を調査確認すべく、運営委員の方々が電話をし、訪問をし、非常に活発に走り回ってくれました。7月17日の最終選考会には、選考委員長の難波先生はじめ、石浜紅子さん(なにわの海の時空館館長)、江弘毅さん(ミーツ・リージョナル編集長)、熊谷真菜さん(食文化研究家)、橋爪紳也さん(大阪市立大学大学院学部助教授)、佐藤友美子さん(サントリー不易流行研究所部長)、寺田千代乃さん(ア

トコーポレーション(株)代表取締役社長)の選考委員の先生方による選考に、運営委員の資料説明を付け加えながら、厳正にかつワイワイと審査がすすめられました。やはり取材をして来た運営委員のメンバーは、選考会で担当した応募者を選考委員の先生方に、ほんとうにすごく上手に熱心にプッシュしていました。よくさすが！なにわの商人、売り込みがうまい！って私もへんなところで感心しました。選考結果は、大賞には新家政延さん、準大賞には成松孝さんと秋田光彦さん、特別賞には門真れんくん発掘隊、箕面自由学園ビューティペアーズ、森下正博さん、大西ユカリと新世界、藤原英祐さん、財大阪21世紀協会特別賞にはくだおれ太郎さんがそれぞれ決定しました。あとは7月28日(なにわのひ)の贈呈式(もくしき)、パーティーにだけ参加大勢の方が来てくださるのか、参加者全員がどれだけ、いちびつて、楽しんで、交流を広げてもらえるか、と私自身プレッシャーが益々大きくなりました。たしか天神祭の前日頃には参加者人数は80名位だとの事、だいたい予定数かと思っていました。ところが26日の夜には100人を超え、参加の連絡なしで20名位は受賞

者の知り合いの方々が来られるとの情報が入りました。急遽会場セッティングの変更、料理の追加などもしました。(嬉しい悲鳴)結局、当日の参加者数はなんと150名にも達し、公会堂の小集会所が熱気であふれかえらんばかりとなり、贈呈式(もくしき)パーティーも熱気が渦巻いたままで進行し、和気藹々とした雰囲気の中、又その熱気の渦も残しつつ大阪締めで無事閉会されました。今回も受賞者のみならず、なにわ大賞に参加したご縁で知り合い、様々な交流ももてた、というようなお話も耳にします。とても有意義で価値ある「第6回なにわ大賞」になった事をとっても嬉しく、また私自身担当させて頂いて本当に良かったと思っています。今年、運営委員に参加されなかったメンバーの皆さん、ぜひ来年は運営委員会に参加して頂き、今年以上に素晴らしいものにしていければと思います。

最後に忘れてならないのは、大功の裏方を担ってくれた運営委員の皆さんの絶大なる協力と思いがあったからこそ、今回のように素晴らしい「なにわ大賞」になった事は間違いありません。本当にご苦労様でした。

ら運営委員長をして頂いている森一貫さんに説明をして頂きました。やはり、まず何よりも

- 一、大阪的である事
- そして
- 一、継続性がある事
- 一、社会性がある事
- 一、発展性がある事

との説明で運営委員全員が「ふうん、ふうん、ふうん」と納得の場面も

応募締切り翌日の

5月23日  
五月総会

ヒノプランニング 日野 泰秀  
道頓堀ホテルにて総会、特別講演会、ネットワークパーティが行われました。特別講演会は(財)大阪コンベンション協会 集客戦略研究所・調査部長の足立克己氏、NPO法人「もうひとつの旅クラブ」理事長および「街角のペンション」経営 李有師氏、そして野杖代表幹事の3人のトークで盛り上がり活気溢れる総会となりました。

6月18日  
六月月例会  
マーケティングと戦略・戦術

(株)アイアート 富永 英輝  
中之島公会堂で、米国防省指定法人「デュピュイ戦略研究所」東アジア代表、松村劭氏をお招きし、戦略・戦術についての講演を開催しました。予想以上の会員・オブザーバーの参加があり盛況のうちを終了する事が出来ました。講演を聴いて、商売・経営と戦略が密接に関わっている事が分かりました。講演を聴いた皆様はきっとご自分のご商売に活かされて行くかと信じています。また当日松村氏の著書も予想以上の売れ行きで、講演会の必要性を改めて感じたので、今後もマーケティングチームで、チャンスがあれば開催したいと考えています。

8月20日  
「サマーパーティ」で、  
発熱モードの暑気払い!

HAPPY 灰谷 幸  
長堀橋にあるカフェレストラン「ヴァニラ」で、おいしく料理&ビールをいただきながら暑気払い。副代表コンビによるイリュージョン(ということにしておきます)やオブザーバーによるヴァイオリン演奏に続き、プロの芸人さんが大爆笑の芸を披露。さらに、会員企業各社が豪華賞品を提供した大抽選会、恒例の大阪締め…と、書き連ねるだけで紙面がいっぱいになりそうなほど盛りだくさんな内容。あまりの楽しさに興奮しすぎて、その夜は眠れなかったヒトも? 15年度は「会員全員がいずれかの部会に所属」となり、各部会の活動も例年以上に活発に行われています。



5月3日  
5月5日  
中之島まつり

ピンハウス(株) 藤井 学  
毎年参加してま〜すっ! 「常連」の天下茶屋あられさんや、「お子様集客の雄」アイアートさん、「美味いお米」のヤマカワさん、参加の皆様、楽しかったですね〜! 今回は事業としてOSKさん存続署名活動のお手伝いをしました。ビックリするほど集まったんですよ〜!

またその上に「チャンバラ」さん、パフォーマンズお疲れ様でした。このチャンバラを見ていない会員さん…後悔しますヨ…たぶん…? 会員としてではなく、大阪人として…です(言い切ります)。

# いちびり 中之島まつり

個人会員

まちづくりコーディネーター 山本 英夫

中央公会堂が昨秋に再オープンしました。大正7年生まれ、荘厳で華麗な大正ロマンのこの建物は、国の重要文化財に指定されましたが、大切にしつつ大いに使ってもらおうため「保全・再生」とよんでいます。ここで「なにわ大賞」を再び開催で

きたことは感慨深いものがあります。全国の公会堂の中でも一級品、まさに日本一であること、デモクラシーを育てる場所として寄付された町衆の気概、この建物を残して使いたいと市民が運動した30年間にわたる記録…。

大賞をもううてもろた中之島まつりは、お祭りであった二面、歴史と未来、権利と義務、まさに「いちびり」ながら市民が都市を考え続けた場でもあったのではないのでしょうか。今年のまつりでは、大阪「モダン・シティ」ふたたびツアー第一弾を企画、公募で集まった市民ボランティアアガイドと勉強を重ね、当会特別会員の森一貫さんにもフル出場いただき、はたして24名のガイドが延べ600名の市民とともに公会堂を感じる事ができました。建築的価値や魅力についてうんちくは申しません。ぜひ足を運んで、使って、感じていただきたいと思えます。



FROM部会

総務部会

総務部会の活動のひとつに「総会、幹事会、月例会など各種会合の企画運営」というのがあり、8月度月例会(サマーパーティー)を担当。部会という枠にとられず、大勢の会員の協力を得ることができました。9月度はキリツと真面目な(?)月例会を開催。なにわ名物開発研究会の魅力を再確認することができました。

会員交流会

みなさんこんにちは、会員交流部部長を仰せつかっております松本です。部会の目標として、「会員各社のビジネス交流の推進」を掲げ、具体的には、大阪ギフトショーのような展示会に積極的に参加することで、対内、対外のビジネスチャンスに会員に提供しております。「研究会を活用して仕事に役立てる為に交流する部門」とご理解ください。

広報部会

今年「広報誌」を3回発行予定しております。今回の12号9月25日、次回13号を(9月~12月)平成16年1月25日、14号を(1月~4月)平成16年5月25日予定で進めております。会員皆様のご協力で「広報誌」は、出来上がります。原稿の投函(依頼分も含む)ニュース・対外広報誌についても宜しくお願致します。

商品開発部会

月一回の部会会合を開催しています。呑み会も含めて...。商品開発・製作・売込みの実践作業しています。オモロイもん作る会...言い出しつぺの会...夢語る会...いやッ!思いつきが商品になる会ですッ!部会員さん以外のご参加をお待ちしております。

新入会員紹介

〈正会員〉

(有) オッズ

小野信行  
サイン・ディスプレイ業

大阪府中小企業家同友会

河合 篤  
中小企業の  
経営者団体の事務所

富屋製菓 (有)

水谷英一  
和洋菓子製造・販売

三和紙器 (株)

井上良紀  
紙器・材材関係全般

(株) イシハラ

石原純一  
製菓原材料  
輸入・卸売・販売

(株) 福建設

福島敏明  
店舗改装・リフォーム  
インテリア・土木  
・建築

〈個人会員〉

松岡理絵 フリーライター

荒木三貴子

相本留美子 日本生命保険(相)

古月幸江

大槻直美 ライター

井村身恒 オダサク倶楽部  
仕掛人

部会活動などにお使い下さい

なにわ名物開発研究会の事務局が6階から12階に移動しました。国際集客都市・大阪のシンボルとなる「なにわ名物」を効果的にアピールする有意義な情報交換の場として、会合や打ち合わせに、またイベントの備品整理の場にお使いください。

●本部

大阪市中央区難波1-7-2

SENOYAビル3F

tel・fax (06) 6213-5554

●事務局 (会議や諸事連絡)

大阪市中央区本町橋2-23

第七松屋ビル1231

tel (06) 6947-5260

fax (06) 6947-5254

会 員 紹 介

府下の中小企業2400社が加盟されている経営者の団体です。会の目的は、  
①強い経営体質をつくる  
②経営者が学びあう  
③経営環境を改善する  
の3つで、結成されてから45年が経ちます。

ここ数年、会内では「地域や大阪経済をどう再生させるのか」という問題意識が高まり、他団体との連携や「なにわブランドづくり」への模索が始まっています。両会のネットワークの発展を願っています。

大阪府中小企業家同友会

〒540-0011 大阪市中央区農人橋2-1-30  
谷町八木ビル4F  
電話 06(6944)1251

三和紙器株式会社

〒661-0852 兵庫県尼崎市椎堂2-1-1  
電話 06(6492)6111

三和紙器株式会社は主に段ボール、紙器、一般資材を取り扱っており、お客様へ日々様々な提案をさせて頂いております。特に段ボールでは段ボールから出る紙粉を除去する装置を開発しお客様へ紙粉のない段ボールをお届けさせて頂いております。

又、別会社の株式会社サンパックは主に企画開発をし開発した製品を自社の成型工場で製造販売しております。又、販促商品等の企画開発も行いお客様へ提案させて頂いております。

今後、なにわ名物開発研究会に少しでもお役に立てればと思っておりますので宜しくお願い致します。